

事業所名 風の里 グループホーム

作成日: 平成24年3月26日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	ご利用者の心身の状態が歳を重ねるごとに変わり、言葉でご本人さんの意向を把握することが難しくなったご利用者も増えている。これまでの生活の経験からご本人さん本位に検討しているが、本当にそれでよいのだろうか、と不安がある。	言葉による意向の把握が難しい場合でも、表情や動作などから、ご本人さんの意向を最大限把握できるように努める。	日々の申し送りやミーティングを通じ、職員間での情報の共有を徹底するとともに、本当に今の介護でよいのかということについて意見交換を機会を増やす。また、そのことをご家族にも伝え、一緒にケアの方向性を考える。	12ヶ月
2	35	死を迎える利用者への援助が未経験の職員が多く、ターミナルケアに対しての不安がある。	ご利用者がいつ終末期を迎えても、ご利用者・ご家族・職員ともに戸惑わず対応できる体制作りを行う。	風の里でのターミナルについての考え方の共有を進める。また、施設内外の研修や他施設への見学を通して、自然な死の迎え方について、学び、実感する。	12ヶ月
3	15	法人内の研修には参加しているが、外部研修に参加する機会が少ない。	外部研修や同業者との交流の場に積極的に参加し、職員のスキルアップと意欲の向上に努める。	認知症介護実践者研修や、他施設での勉強会などに積極的に参加する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。